

## 平成 29 年度 東京都内湾水生生物調査 12 月稚魚調査 速報

### ●実施状況

平成 29 年 12 月 19 日に稚魚調査を実施した。天気は快晴で、気温 8.3~10.5℃、西の風 1.5~2.2m/s であった。当日は大潮で、6 時 05 分に満潮、11 時 35 分に干潮であった（東京都港湾局のデータ）。各地点の概況を下表に示す。

全調査地点で、水温の低下に伴い魚類の確認個体数が減少した。城南大橋において、今年生まれのアユの稚魚が確認された。

2017/8/25	お台場海浜公園	城南大橋	葛西人工渚
作業時刻	9 : 05~10 : 00	10 : 46~11 : 30	12 : 35~13 : 45
水温 (°C)	10.1	13.9	11.9
塩分	27.3	26.0	21.6
透視度 (cm)	100 以上	100 以上	75
D0 (mg/L)	7.3	7.1	8.7
D0 飽和度 (%)	79.9	81.0	95.9
波浪 (m)	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満
pH	7.4	7.5	7.6
水の臭気	カビ臭 (中)	カビ臭 (弱)	カビ臭 (弱)
備考			

注) 塩分、D0、pH の値は計器測定値。

### ●主な出現種等(速報のため、種名等は未確定)

主な出現種等	お台場海浜公園	城南大橋	葛西人工渚
魚種 (多い順 <sup>注</sup> )	ヒメハゼ (+)	アユ (c)	アシシロハゼ (c)
	ビリンゴ (r)	ヒメハゼ (r)	ヒメハゼ (+)
	アシシロハゼ (r)	マゴチ (r)	エドハゼ (r)
		ボラ (r)	
魚類以外	ユビナガホンヤドカリ (r)	エビジャコ属 (+)	クロイサザアミ (m)
	シラタエビ (r)	クロイサザアミ (r)	シラタエビ (+)
備考	ケンミジンコ (動物プランクトン) が多く捕獲された。	最干時での潮位が高く、干潟は干出しなかった。	

注) 表中の ( ) 内の記号は大まかな個体数を表す。

G:1000 個体以上、m:100~1000 個体未満、c:20~100 個体未満、+:5~20 個体未満、r:5 個体未満

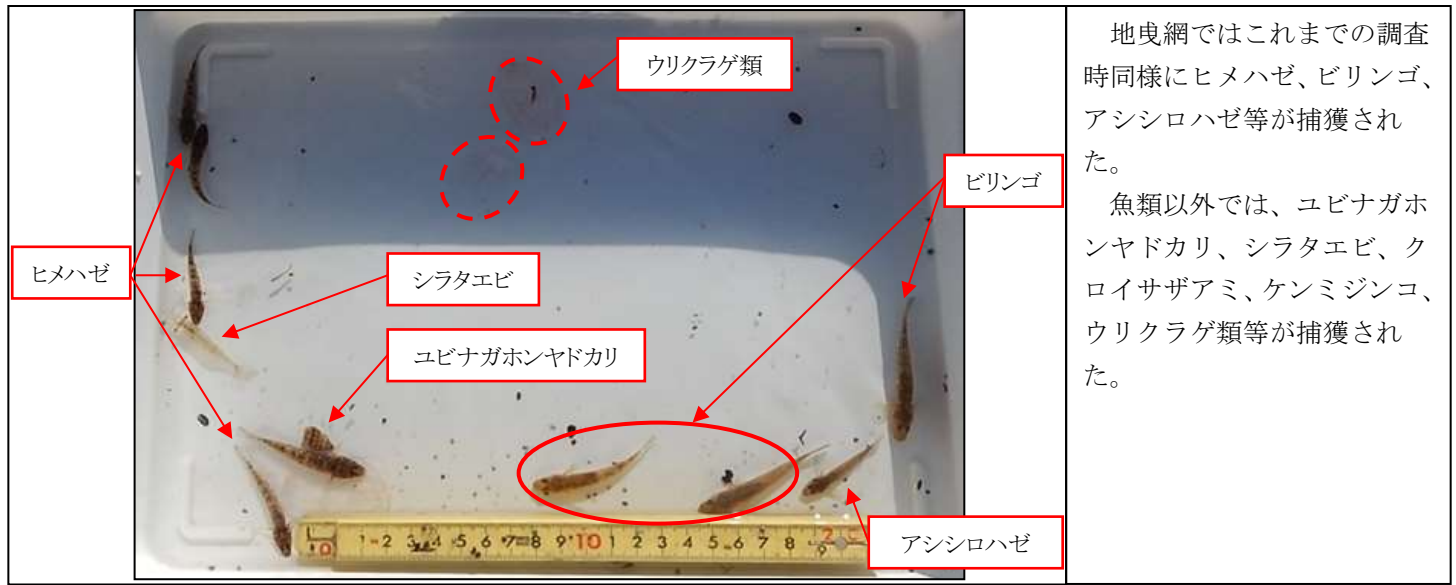
## お台場海浜公園 採取試料



調査地点の様子



地曳網の様子



地曳網ではこれまでの調査時同様にヒメハゼ、ビリンゴ、アシシロハゼ等が捕獲された。  
魚類以外では、ユビナガホンヤドカリ、シラタエビ、クロイサザアミ、ケンミジンコ、ウリクラゲ類等が捕獲された。

### 捕獲された主な稚魚等

	<p><b>ヒメハゼ</b> 東京湾干潟の代表的な小型ハゼ。河川域やそれに続く前浜干潟に生息する。食性は動物食である。産卵は春から夏にかけて行われる。</p>		<p><b>アシシロハゼ</b> 内湾や汽水域に周年生息している。東京都では一時激減したが、河口干潟の保全に伴って増加傾向にある為、留意種に選定されている。</p>
	<p><b>ビリンゴ</b> 北海道から九州に分布する。産卵期は2~5月で、一生を干潟域で生活する。東京都では水質汚濁により数が減り、準絶滅危惧に選定されている。</p>		<p><b>ユビナガホンヤドカリ</b> 内湾潮間帯を代表する種潮間帯上部から下部にかけてのタイドプールに生息するが、冬季は少し深い藻場などに移動する。</p>

## 城南大橋 採取試料



調査地点の様子



地曳網の様子

アユ		ユビナガホンヤドカリ	<p>地曳網では、アユ、ヒメハゼ、マゴチ、ボラ等が捕獲された。</p>
ボラ		エビジャコ属	<p>魚類以外では、ニホンイサザアミ、エビジャコ属、ユビナガホンヤドカリ等が捕獲された。</p>
マゴチ		<p>今回は、特にアユの稚魚が多く確認された。</p>	
ヒメハゼ			

### 捕獲された主な稚魚等

	<p><b>アユ</b> 東京湾に注ぐ多摩川では 10~12 月に産卵が行われる。孵化した仔魚は海に降り、翌年の春に河川を遡上する。</p>		<p><b>ボラ</b> 内湾の浅場に生息する。10~1月に外洋で産卵する。稚魚は成長するにつれて沿岸や河川移動する。捕獲個体は、今年の秋季に生まれた個体と思われる。</p>
	<p><b>マゴチ</b> 内湾の砂泥底に生息する。産卵期は4~7月である。10月調査時より大きな個体を確認した。</p>		<p><b>エビジャコ属</b> 日本各地の内海、内湾の浅海帯に生息し、干潟の砂泥底で普通に見られる。佃煮あるいは生鮮食品として食される。</p>

# 葛西人工渚 採取試料



調査地点の様子



地曳網の様子

エビジャコ属		<p>地曳網では、アシシロハゼ、ヒメハゼ、エドハゼ等が捕獲された。</p> <p>魚類以外では、クロイサザアミ、エビジャコ属、シラタエビ等が捕獲された。</p>
エドハゼ		
クロイサザアミ		
ヒメハゼとアシシロハゼ		

捕獲された主な稚魚等

	<p><b>エドハゼ</b></p> <p>宮城県以南の太平洋岸に分布する。生息場所は砂泥底を好み、動物食である。東京都では、絶滅危惧Ⅱ類に選定されている。</p>		<p><b>アシシロハゼ</b></p> <p>北海道から九州に分布する。産卵期は5～9月で、東京湾では6～7月と9月に産卵のピークが見られる。佃煮などで食される。</p>
	<p><b>クロイサザアミ</b></p> <p>かなり低塩分に適応し、関東地方では利根川河口、東京湾に生息する。漁獲され、飼料としてまたは佃煮として食したりもする。</p>		<p><b>シラタエビ</b></p> <p>体長6cm程のエビ。函館以南の太平洋岸に分布し、汽水域に生息する。額角が長く、付け根が盛り上がっているのが特徴である。</p>